

えびの 市議会だより



あけましておめでとうございませす

主な内容

公の施設の指定管理者が決定…………… P 5

年頭のごあいさつ…………… P 2～3

各委員会での審査内容…………… P 6～9

一般質問（登壇13名）…………… P 10～16

議会だよりアンケート調査のお願い…………… P 17～18

3月定例会は2月27日開会予定です

年頭の「あいさつ」

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

また、日ごろから議会活動に対し特段のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本市議会は、昨年9月の改選を終え、新しくスタートいたしました。新たな15人で市政を取り巻く環境の変化を的確にとらえながら、また議会基本条例を常に意識した議会活動をさらに進めてまいります。

特に本年は、新たに「議会報告公聴特別委員会」を設け、市民の皆様からいただいた



たご意見やご提案などを市政や議会改革に
反映できるよう、これまで以上に活発な議
会活動を展開してまいります。

議員一人ひとりがえびの市民の代表として
その責務を自覚し、活力あるえびの市の実
現に向けて、議員一同、誠心誠意努めてま
いる所存であります。

年頭にあたり、市民の皆様のご健康とご
多幸を祈念申し上げ、より一層のご支援と
ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

えびの市議会

議長 上原 康雄
副議長 北園 一正



平成29年12月定例会 議案審議結果表

1. 議案等

会期：平成29年12月1日～12月15日（15日間）

番 号	件 名	付託委員会	審議結果
議案第75号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	—	同 意
議案第76号	えびの市情報公開・個人情報保護審査会の委員の選任について	—	同 意
議案第77号	公の施設の指定管理者の指定について	産 業 厚 生	原案可決
議案第78号	公の施設の指定管理者の指定について	総 務 教 育	原案可決
議案第79号	宮崎県自治会館管理組合の解散について	総 務 教 育	原案可決
議案第80号	宮崎県自治会館管理組合の解散に伴う財産処分について	総 務 教 育	原案可決
議案第81号	宮崎縣市町村総合事務組合への加入について	総 務 教 育	原案可決
議案第82号	定住自立圏形成協定の一部変更について	定住自立圏 形成協定審査 特別委員会	原案可決
議案第83号	えびの市奨学金貸与条例の一部改正について	総 務 教 育	原案可決
議案第84号	平成29年度えびの市一般会計予算の補正(第8号)について	予 算 審 査 特別委員会	原案可決
議案第85号	平成29年度えびの市国民健康保険特別会計予算の補正(第3号)について	産 業 厚 生	原案可決
議案第86号	平成29年度えびの市介護保険特別会計予算の補正(第3号)について	産 業 厚 生	原案可決
議案第87号	平成29年度えびの市病院事業会計予算の補正(第2号)について	総 務 教 育	原案可決

2. 請願・陳情

番 号	件 名	付託委員会	審議結果
請願第 1号	有害鳥獣駆除班結成についての請願書	産 業 厚 生	取り下げ



公の施設の指定管理者が決定(えびの市交流物産館)(23の体育施設等)

予算関係の議案

人事案件

平成29年12月定例会は、12月1日から15日までの15日間開催し、議案13件、請願1件を審議しました。結果は前項の審議結果表のとおりです。

その他の議案

議案第77号 公の施設の指定管理者の指定について

施設名 えびの市交流物産館
団体名称 えびの市農業協同組合
指定期間 平成30年4月1日から平成35年3月31日まで(5年間)
(※詳しくは、P. 7 産業厚生常任委員会報告を参照下さい。)

議案第78号 公の施設の指定管理者の指定について

施設名 王子原運動公園他10の体育施設
とえびの水辺の楽校、新たにえびの湯田地区河川公園を含めた13の施設
団体名称 えびの市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会
指定期間 平成30年4月1日から平成33年3月31日まで(3年間)
(※詳しくは、P. 6 総務教育常任委員会報告を参照下さい。)

議案第82号 定住自立圏形成協定の一部変更について

にしもろ定住自立圏を目指す将来像と定住自立圏共生ビジョンの計画期間である5年が経過し、引き続き定住自立圏構想の推進を図るため、現状に即した内容にするものです。
(※詳しくは、P. 9 定住自立圏形成協定審査特別委員会報告を参照下さい。)

議案第84号 平成29年度一般会計補正(8号)について

歳入歳出それぞれ6,102万1千円を追加し、補正後の予算総額は144億9,011万1千円となります。
主な事業
農林水産事業費 211万円
単独土地改良事業費において老朽化による水路崩壊の恐れがあるため、田代地区排水路改修を行うものです。
商工費 218万9千円
白鳥駐車場を設置するにあたり、良好な眺望を確保するためのものです。
(※詳しくは、P. 8 予算審査特別委員会報告を参照下さい。)

固定資産評価審査委員会

委員 竹下京一氏

えびの市情報公開・個人情報保護審査会

委員 河村旭氏
委員 馬籠勝典氏
委員 栗坂三枝子氏
委員 成光眞里子氏



12月定例会において、当委員会に付託されました議案6件について審査を行いました。審査の結果、全ての議案は原案のとおり可決すべきものと決しました。以下、主な議案の審査内容を抜粋して報告します。

①議案第78号 公の施設の指定管理者の指定について

今回、指定管理を委託する施設は、王子原運動公園ほか10の体育施設とえびの水辺の楽校、新たにえびの湯田地区河川公園を加えた13の施設です。指定期間は平成30年4月1日から平成33年3月31日までの3年間です。

平成29年9月11日から10月16日まで公募し、1団体のみの申請。

10月31日に開催した指定管理候補者選定委員会におきまして、【施設の特性、機能等を考慮し、設置目的に沿った管理運営を効果的かつ効率的に達成できるか】更に、

【施設の効用の最大限の発揮及びサービスの向上等】に重点を置き、選考審査が実施されました。審査方法については、申請者から概要説明を受け、質疑応答を行った後、5人の委員各自が書類の審査及び採点方法による評価を行い、それ

を集計した総合点数方式によって指定管理候補者の選定を行いました。選定委員会の選定基準は、5人の委員・各1人100点満点で、全委員合計得点が300点以上。そして委員の過半数が採用判断した場合となっています。審査の結果、合計得点404点、全委員が承認しました。

選定した理由としては、

①【これまでの3年間の実績を踏まえ、更なる施設の維持管理をするため作業員の雇用を図るなどの計画がなされ、その意欲が認められるところ】

②【施設の修繕や作業等について、引き続き可能な部分は自前で引き続き可能な部分は自前で引き続き可能な部分が認められたこと】

③【引き続き自主事業が計画されており、より充実したスポーツ及び文化活動の実施による利用者増加が期待できること】

④【地域住民と密接に連携し、適切な管理運営が計画されていること】

⑤【施設の設置目的及び関係機関との連携について十分に理解、認識していると認められること】

以上のような選定理由によりまして、えびの市総合型地域スポー

ッククラブ連絡協議会が候補者として選定されたとの説明でした。

Q…利用者からグラウンドの草刈りや芝の管理、砂不足など整備不良が指摘されており、これまでも同じ団体の継続した指定管理者となるが、この指摘に対する改善策等どのような管理運営計画が提案されたのか。

A…草刈り等の作業員として新たに1名雇用し、利用者が気持ちよく利用していただけるように、出来ることは早急に対応し、日常的に巡回して修繕等に配慮するとの説明だった。

Q…危機管理体制の中で、AEDが必要となった場合、その場には使用出来る人がいなければ意味がない。また万が一、事故が発生した場合の責任問題についてどのような体制を取られているものか。

A…現在、各体育施設等には常駐職員は置いておらず、緊急時には緊急連絡先へ連絡していただくようお願いしてある。また、体育館施設においては予約のあった時のみ鍵の開錠・施錠を行っている。AEDは講習会を実施しており、今後施設利用者

対象にした講習会実施も予定しているとの説明だった。

Q…行政側も指定管理者も責任の持てる管理体制に努めるべきである。現在、各施設の利用者名・団体数・利用者数・使用料収入額を月報で毎月提出されているが、より詳細な日報を作成して、月報と合わせて提出していただきたい。これにより、各施設の稼働率等の詳細が把握でき、今後の管理運営の検討材料として活用出来るのではないか。

A…協定締結前に再度、指定管理者と協議を行う。

総務教育常任委員会

委員長 遠目塚 文美



現在整備が進んでいる湯田地区河川公園

議案等の 審査

産業厚生常任委員会報告

12月定例会において、当委員会に付託されました議案3件、請願1件について審査を行いました。審査の結果、全ての議案は原案のとおり可決すべきものと決し、請願第1号は、12月7日付で請願者より取り下げの申出書が提出され、12月13日の本会議において取り下げの決定がされました。以下、主な議案の審査内容を抜粋して報告します。

①議案第77号 公の施設の指定管理者の指定について

えびの市交流物産館は、平成25年度から指定管理者制度により指定管理を行っており、平成29年度までで指定期間5年間の終了となります。平成30年度から平成34年度までの5年間の間においても指定管理者が管理を行います。候補者選定の経過については、8月7日庁内において、候補者選定方針・指定期間・運営方法・指定管理料の一部見直し等について協議をし、今回は公募によらず候補者を選定し、

現行の指定管理者継続となりました。指定管理者はえびの市農業協同組合です。公募によらない選定とした理由は、来場者数・売上額ともに、開館前の予想を上回る実績があり、平成28年度については来場者数60万人を超え、売上総額も税込6億円を超えています。これまでの5年間の経験と知恵を活かしながら、新たな企画や展開に繋げることで、更なる地域経済への発展が期待されると判断したとの説明でした。

Q…説明の中で公募によらなかったこと及び新たな要件を加えたとの説明があったが、新たな要件とは何か。

A…新たに提示する要項、仕様書に、収益の中で黒字が出た場合はその3分の1を納入してもらうことを明記した。

Q…5年間黒字経営ということでは、500万円程度の利益が上まっているが、仮に赤字に転じた場合についての協議はされた

のか。

A…独立採算制で、運営については出荷者協議会の手数料で運営しており、赤字については当然経営努力をされると思っている。赤字の協議については市の負担を求める旨のJAからの話は無い。

Q…施設の運営方法で、指定に関わる申請書の中に環境整備が全く書かれていないが。

A…環境面の充実が一番重要な部分だと思う。議会の議決をいただいた後に、協定の締結に向けて作業を進めていく。協定の中で環境整備の部分、収益配分等について定めていければと思っている。

議案第85号・議案第86号については、特段報告する質疑はなく、審議の結果、両議案とも討論もなく採決の結果原案のとおり可決すべきものと決しました。

産業厚生常任委員会

委員長 西原義文



順調な経営が続いている道の駅えびの

議案等の 審査

予算審査特別委員会報告

平成29年度一般会計予算の補正

12月定例会において、当特別委員会に付託された案件は、議案第84号 平成29年度えびの市一般会計予算の補正（第8号）についての1件でありました。

審査の結果、討論もなく全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。以下、審査内容の主なものを報告します。

① 消防団員等災害補償費について

Q…火災の消火活動現場での疾病発症から、入院治療まで5日間経過している。事後処理状況について伺う。

A…本件については火災現場で発症したもので、同日医療機関で受診後別の病院へ転送。その後、2ヶ所の病院で受診して医療機関から紹介を受け、宮崎市内の

病院に入院治療を行ったものである。現在団員は健康を回復し、通常の勤務に就かれている。

Q…消防団幹部は、団員の健康管理・危機管理を担っている。消防団幹部には報告がなかったようであり事後処理に疑問を抱く。どのようになっているのか。

A…消防団長には報告していたが、幹部会全体には報告していなかった。今後十分に注意して対応する。

② 学校給食センター管理事業費について

Q…給食センター管理事業費予算の内容について伺う。

A…管理事業費予算は、現在の給食センター敷地内に地目公衆用道路・面積72㎡の民有地があることが判明したので、この件を整理するための予算である。

予算審査特別委員会

委員長 北園 一正



市民の生命・財産を守るため、日々尽力いただいているえびの市消防団（平成30年えびの市消防出初式での一斉放水）

議案等の 審査の

定住自立圏形成協定審査特別委員会報告

12月定例会において、当特別委員会に付託された案件は、議案第82号定住自立圏形成協定の一部変更についての1件でありました。

審査の結果は討論もなく全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。以下審査内容について報告致します。

審査の中では、

①保健・医療の分野の「圏域医療体制の確保」で高度な医療機器の購入や利用の在り方について。

②農林畜産業の振興の分野で「有害鳥獣被害防止対策について」は、西諸圏域内の対策と鹿児島・熊本両県との対策について。及び「農業振興対策」では、西諸圏域かんがい事業の推進と、他の農業政策の連携について。

③商工・観光業の振興分野の「広域観光の推進」では、観光DMO（地域と協同して観光地域づくりを行う法人）の設立や西諸圏域での連携について。

④地域づくりに資する人材育成の分野の、「地域のリーダーの育成」では、地域のリーダーの確保、育成についての対策について。

以上4点について、各分野の取り組み事項に質疑があり、担当課長の説明を受けました。

▼定住自立圏形成協定とは

〔国が定める定住自立圏構想推進要綱に基づく一定圏域において、中心市と近隣市町村が相互に役割を分担。連携・協力することにより、地方圏における定住の受け皿を形成する構想を、市町村が連携して取り組む協定である。〕

西諸圏域においては、中心市宣言都市である小林市とえびの市、小林市と高原町の間において協定を締結して、定住自立圏共生ビジョンを策定し平成25年度から29年度までの5ケ年で施策等を推進してきた。〕

▼協定内容を変更する理由は

〔人口減少は全国的な課題として本格化する中、この定住自立圏構想についても今日の社会情勢や西諸圏域の現状に即した内容とした上で、引き続き推進する必要があるため、同ビジョンの改定について検討を進めてきたものである。〕

改定については、3市町で組織する「定住自立圏形成推進協議会」と民間有識者や関係者で組織する「定住自立圏共生ビジョン懇談会」の場で意見等を聴きながら作業を進めてきた。そして、その中で協定の一部見直しが必要となった政策及び取り組み事項を変更するものである。〕

▼変更協定の内容は

〔変更の協定の内容は、現行の協定において「生活機能の強化」「結びつきやネットワークの強化」「圏域マネジメント（運営）能力の強化」の政策について、16分野を14分野に改定統合

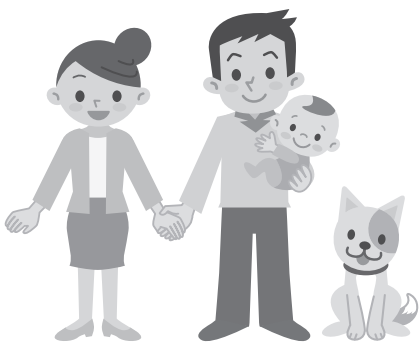
するほか、取り組み事項の内容を改定するものである。〕

▼政策を取り組むことにより、国等から財政支援があるのか

〔交付税措置等の財政支援がある。市は現在まで、毎年1、500万円の特別交付税措置を見込み、政策を取り組んでいる。〕

定住自立圏形成協定審査
特別委員会

委員長 北園 一正



一般質問

人口減少の歯止めとなるか！



田口 正英
議員

質問 「えびの市工業団地整備」について、当初の予定どおり総面積30鈔の構想に変わりはないか。

市長 当初の30鈔の開発の可能性は残っているが、先ずは第一工区の造成をし早期の企業誘致を実現したい。第二工区については、企業立地の状況をみながら可能性が高ければ検討していく。現時点では未定である。

質問 工業団地内からの排水先となる堂本用水路と、併せて関連性のある水路等の改修、改善等の計画を示し調査すべきと思うが。

市長 工業団地造成の影響とは

12月定例会では、13人の議員が登壇し、幅広く活発な議論がされました。その要旨を各議員が報告します。

別に水路の改修等の要望等は来ている。堂本用水路の下流域での問題があれば、対応できる分については検討していく。

質問 工業団地の用地買収単価については今後変動はないものか。

市長 地権者の方にも示し説明している基本計画の中の4パターンの範囲内で納まるようにしたい。

質問 工業団地造成後の維持・管理費について試算を示すべきではないか。

市長 公共の部分がある概算費用は出せるので年度内に提示する。



基本計画が策定された湯田・西郷工業（産業）団地予定地

市の財政、一人当たりの借金は



金田 輝子
議員

質問 前市長の改革は、職員300名に削減、保育所民営化、市長の報酬30%カットなど、画期的なものだった。現市長も4年間の報酬30%カットされたが、2期8年で、市民一人当たりの借金がどう変化したのか。

財政課長 数年間大型事業が増え市債残高も増えてきた。平成20年度が36万5千円、平成28年度は39万6千円になっている。

質問 えびの市に在籍する職員の課税対象者の人数と住民税額を示せ。

総務課長 課税対象者は253名で、6千4百万円である。

質問 市立病院の薬局について職員自ら休日返上で、天井のペンキ塗り、異臭対策、床の漂白などが改善されている。院外薬局の話が

出ているが、現状のまま続行出来ないか。

病院事務長 院外薬局になれば患者負担がおおむね3倍になる。可能な限り院内薬局を続投する。

質問 在宅介護の支援について介護する人達への救済と更なる予算アップを検討して頂きたい。
介護保険課長 第7期介護事業で検討する。



財政面での課題も重要である

ユニークなまちづくりを



蔵園 晴美
議員

質問 空き店舗・空き家が増加し、まちとしての形成がなくなる。所有者に税金の減免措置をし、起業・企業に安価な賃貸料で貸し出し、まちなかの活性化を図る必要がある。

市長 減免措置をした経緯もある。県の補助金等を活用し、加久藤の町なかにおいては起業者入居を進めサポートしていきたい。

質問 京町温泉宿泊数は、平成24年度と比較し、平成28年度は2万3644人減少の3万9,444人。ユニークな街づくりが求められている。昭和懐かしのまちづくりを提唱しているが、新年度予算にどのように反映させるか。

市長 京町活性化の組織を作り、商業施設改修の補助金を考えている。それによって地域全体で統一



来年度以降、改修等の計画がある永山運動公園

した街並みを形成していきたい。

質問 永山運動公園拡張整備の計画はどのように進められているか。公園内でキャンプ・焼肉等のできるレジャーゾーンを設けてはどうか。

教育長 平成30年度に拡張部分。平成31年度に既存部分の概算要求をする予定。キャンプは申請すればできる。焼肉については芝生以外は可能である。

「道の駅を拠点としたまちづくり構想」について



小東 和文
議員

質問 道の駅西側の拡張について提案して2年が過ぎた。魅力ある誰もが住みたいと思うようなまちを作るには、道の駅西側の開発が最重要と考える。現在、大型バス・大型トラックが駐車するスペースも足りない。駐車場が不足している状態である。西側の土地を購入し開発すべきだ。

市長 アウトドアビクターセンター開設となると、機能強化とはなるが、今後、更に駐車場不足が想定される。民間の活力による開発という思いも十分考えながら平成30年度中には、土地の取得について前向きに検討して行きたい。

質問 老人ホーム運営事業費過去5年間の推移をみると、年間1億円以上の出費が続いている。民間に売却か譲渡する考えはないか。

市長 今の契約が3年なので平成31年度末をもって、その先の方向性を決めて行くことになる。

質問 九州パームミス跡地については、丸正フーズに売却することだったが、契約は締結したのか。事業計画書は出来ているか。

市長 契約については現在進行中であり、今年度中に所有権移転する。事業計画書は出ていない。



道の駅えびの西側敷地への駐車場拡張の提案

電気料金の安いえびの市へ



中山 義彦
議員

質問 畜糞バイオガス発電所を核とした循環型社会をつくり、農畜産業の振興を図るとともに、発電した電気は「市内の家庭に無料」で提供する事業を、市として取り組んでもらいたい。

市長 民間団体が事業を興せば、市も主体的に共に頑張る。

質問 舗装工事の公共工事格付けの見直しを行って、全て市内の会社に発注してもらいたい。

指名審査会会長 平成30年度より格付けの見直しを行う。

質問 工業団地での市の負担は5億円くらいで良いのか。

市長 基本計画を市で精査し5億円程度の負担と認識している。

質問 今の計画では、工程の長期化や事業費が膨張する。搬入路・軟弱地盤対策を盛り込んだ施

工方法を確立し、施工計画・工程・工事費を作成すると共に、液化対策・景観を考慮した団地の検討を行うこと。また、公共施設計画がほぼ確定したら、施設の管理計画と、その維持費を早急に作成するべきである。

市長 詳細設計の前には方針を出す。



バイオマスセンター(バイオガス発電所)を核とした循環のまちづくり(福岡県大木町)

地域の拠点、コミュニティセンターの移設について



松窪 ミツエ
議員

質問 上江コミュニティセンター移設についての進捗状況は。

市民協働課長 旧上江中学校舎を活用し、事務所や研修室、倉庫を備えた整備を予定している。新年度の当初予算で事業費を計上して、2018年の半ばの完成を目指している。

質問 地域の拠点となる上江コミュニティセンターに調理室の整備をする考えはないか。

市長 現時点ではない。地域の要望や活性化、盛り上がり、他の施設との併用した活用等考慮しながら検討していく。

質問 若い世代と膝を突き合わせ、まちづくりを語り合う取り組み等はされているか。

市長 組織に加入している若者たちがどんな政策を求めているか

意見交換はしているが、全体の若者とは確かに交流の場は少ない。
質問 トップリーダーとの対話は、若者が求める魅力のあるまちづくりに繋がると思うがどうか。
市長 若い世代の意見も聞き、具体的な政策に変えていく、一緒に解決していく、そういった意見交換をこれまで以上に積極的にしていこうと考えている。



今後改修等を施し、地域の交流拠点となる旧上江中校舎

工業（産業）団地の特別会計について



北園 一正
議員

質問 工業（産業）団地造成事業を進めるため、基本計画に「特別会計」を設置して事業を進めるとあるが、特別会計を設置できる根拠を示せ。

財政課長 特別会計の設置は、地方自治法の規定により一般会計と歳入・歳出を区分して事業会計を明確にするもので、設置条例を議会に提案し議決を経て設置する。

質問 市が計画している「湯田・西郷」団地の特別会計は、いつ設置して事業を進めるのか。

市長 工業（産業）団地造成事業の「特別会計」の設置は、平成30年3月定例会に設置条例を提案し、事業を進めて行く予定である。

質問 団地造成費は、一般会計からの繰出金（市負担金）も必要となるが、どのような資金を見込

んでいるのか。

財政課長 団地造成の総事業費から、工業団地として売却した差額が一般会計からの繰出金となる。また、繰出金を単年度で拠出することは財政運営上厳しくなるので、県の10年償還無利子貸付資金・地域開発事業債・過疎対策事業債等を活用して、一般会計の財政運営に影響が出ないように図る。



工業（産業）団地造成予定地となっている湯田・西郷地域

地域資源を生かした農業振興



吉留 優二
議員

質問 農業所得を上げるため6次産業化による農産物の高付加価値化は大事。市内にある農産加工工場の支援と共に、大規模な農産物加工工場を誘致する考えは。

市長 企業誘致は、市内の企業等とも打ち合わせをしながら、事業の拡大に向けてサポートできるところはサポートして行く。

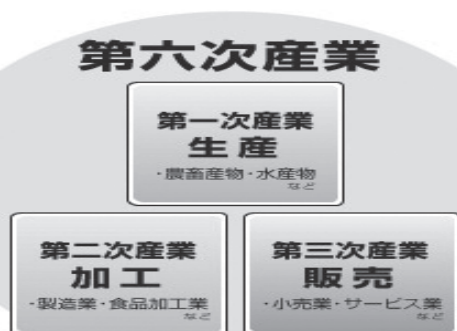
質問 ブランドの構築の促進と、ブランドイメージにどのように取り組んでいるのか。

市長 特Aの米と、日本一に輝いた宮崎牛は、全国的に高い評価を受け、他の農産物に良い影響を及ぼしている。都市部でのフェアも取り入れ、えびののイメージと優れた農産物のイメージ、この二つを重ねPRして行く。

質問 農産物の6次産業化は、

第1次産業の農産物を、第2次産業で加工高付加価値化され、第3次産業の流通販売といった一貫した事業体の形成が可能、地域経済に大きく影響を及ぼすと考えるが。

市長 地域の様々な産業が連携する事で、地域の資源がさらに付加価値化を高め、連携が取れるよう、行政も体制を整えて行く。



農業所得を上げる6次産業化

子ども達の安心安全な学校生活を



小宮 寧子
議員

質問 市内の小中学校での不審者や防災に対応した安全対策は。

教育長 すべての学校に危機管理マニュアルがあり、学校で計画的に避難訓練を実施している。

質問 本市の学校給食における食物アレルギー対策の取り組みは。
学校給食センター所長 調理に関わる全員でアレルギー対応の調理指示書を元に打ち合わせを行い、アレルギー専任の調理員を配置し、学年・組・名前を明記した調理別の対応容器を使用している。

学校教育課長 学校では配送された除去食、代替食を教職員が確認し受け取り、直接該当する児童生徒へ配膳している。

質問 えびの市立病院の建て直しの長期計画はあるのか。

病院事務長 耐震性上は問題な



栄養面だけでなく、安全にも配慮している学校給食

い。必要な維持補修を実施しながら建て替えは行わず、時代や患者のニーズに合わせて対応していく。
質問 女性管理職の登用を増やす考えはないか。

市長 是非、女性職員にも活躍していただきたい。性別による管理職登用への壁がなくなるよう職場全体の雰囲気も盛り上げていきたい。

核兵器禁止条約の批准



西原 政文
議員

質問 国連で核兵器禁止条約が採択され運動を進めた団体がノーベル平和賞を受賞した。えびの市議会は、非核平和都市宣言を決議しており平和と暮らしを守るため声を上げるべきだ。

市長 核兵器廃絶を追求する首長会にも広島総会にも出席をしている。毎年の核兵器禁止平和行進などにも協力しており原爆パネル展も行なっている。今後も意識啓発に努めたい。

質問 国保税が高いと聞く。基金を使い、下げる努力が必要だ。

市長 市民の負担が少なくなるよう今後も努力する。

質問 入札制度改善と市単独事業は、発注時期を早めるべきだ。

指名審査会会長 業者が今後とも均等に受注できるようにし、入札

発注は早くするように指示する。

質問 木崎原古戦場跡や文化センターなどの遺跡調査報告書が市の単独事業ではない。えびの市は素晴らしい自然と遺跡がありこれらは報告書を作りこれらを磨き観光資源としても後世に残すべきだ。
教育長 遺跡調査報告書が無いものは、来年度刊行をする。



えびの市の貴重な文化遺跡
(田上城跡 溝状遺構掘込作業の様子)

多様性に対応する取り組みを！



遠目塚 文美
議員

質問 男女共同参画社会づくり

と性的少数者（LGBTなど）への配慮等を含め、人権意識の浸透が重要視されている。現在、学校の出席簿で男女を区別しない「男女混合名簿」の使用を求める動きが宮崎県内で活発化している。えびの市内の現状と今後の検討は。

教育長 日常の学校生活を通して、性別に関係なく個性を発揮出来る環境を整えるための1つの手段だと考えている。今後、県の動き等を見ながら導入しなければならぬ時期を考え検討する。

質問 えびの市内において、盗伐・誤伐の被害現状。併せて、防止策は検討されているものか。

農林整備課長 盗伐はないが、

誤伐は3件発生しており、隣接者との境界立会いを行わなかったこ



将来的に持続可能な森林保全・管理のあり方が求められる

とによる境界の間違いが原因である。（2件は示談成立、1件は協議中）11月より県の事務処理マニュアルに基づき、境界確認を実施した際の記録簿や字図を提出することなど指導している。

質問 産業団地が予定通り売却出来なかった際の費用試算は。

企業誘致対策監 数パターンに絞って提出することは可能。

市営露天風呂再開発を



栗下 政雄
議員

質問 市道湯の上線の改良は、

3町合併した時代と、全くと言っていいくらい変わっていない。行き止まり、回転場所もない。早急に調査は出来ないか。

市長 平成32年度までの、えびの市過疎自立促進計画の中に道路改良工事を行う道路としてすでに位置づけ、平成30年度より測量設計等を行う計画にしている。来年度は出来ると思う。

質問 国際交流センターで幼児や子ども達に外国語の教育を進め指導をしてほしいという声があるがいかがか。

市長 幼児や子どもたちが歌やゲームなどを通じて英語に親しませ、英会話や英語学習を提供されている。外国語を指導して下さる方については、現在のところ飯野

高校のALTや県内外の外国語指導助手や国際交流員を講師にお願いして実施をしているところである。

質問 えびの高原市営露天風呂の今後の運営について。

市長 現在国立公園満喫プロジェクトの動きがある。えびの高原の再開発についての方向性が出ると思われる。



現在休館中のえびの市営露天風呂

畜産並びに土木行政について



竹中 雪宏
議員

質問 近隣諸国では高病原性鳥インフルエンザが発生している。本市の防疫対策を示せ。

畜産農政課長 情報提供並びに防疫対策徹底の啓発を行うと共に、石灰や消毒薬の配布、散布機械導入費の一部を支援している。

質問 繁殖農家対策として、子牛・育成牛・経産牛等市貸付枠の確保。肥育対策では、地域内一貫体制肉用牛振興対策事業による導入頭数を拡充し、経営安定と肉用牛生産基盤の強化を図る考えは。

市長 育成牛導入等の新規事業もあるので、総合的に判断を行い貸付枠の確保に努める。肥育対策では、拡充の方向で対応する。

質問 坊ヶ島耕地4号線改良工事の進捗状況と完成の目処は。

建設課長 地権者の同意は得ら

れていない状況であるが、5m幅で早くできるように努める。

質問 市道の拡幅改良工事等に無償提供された土地の未登記処理並びに税金の還付方法を伺う。

建設課長 工事台帳等を基に大至急調査を行う。

税務課長 還付金は、20年間分さかのぼって税相当額及び利息相当額の還付処理はできる。



日常からの防疫対策が重要となる

議会傍聴

しませんか

手続きは簡単です。

えびの市議会では年4回「定例会」を開催します。定例会は約1ヶ月かけて行われ、多くの議案を慎重に審議します。予算の執行状況や現状、今後の方針などについて説明や報告をうけます。このほか市政についての一般質問を行います。

えびの市議会では、公正性及び透明性を確保するために市民に開かれた議会を目指しております。

手続きは本会議当日に、本庁3階の議会事務局で自分の住所・氏名を傍聴申請書に記載するだけで、どなたでも傍聴できます。

ただし、ルールやエチケットは、お守り下さい。



えびの市議会議場

【平成29年10月】

16日 10月定例会（開会）

議会運営委員会

25日 全員協議会

27日 戦没者追悼式

【平成29年11月】

6日 議会運営委員会

10月定例会（閉会）

議会広報特別委員会

9日 議会広報特別委員会

産業厚生常任委員会請願審査

13日 総務教育常任委員会管内調査

14日 議会広報特別委員会

15日 議会広報特別委員会

21日 金婚者祝賀会

22日 議会運営委員会

28日 えびの市子どもの未来応援研修会

29日 熊本県南阿蘇村行政視察

30日

【平成29年12月】

1日 12月定例会（開会）

アンケート調査のお願い

議会だよりアンケート調査

問1. 議会だよりの全体的評価をお聞かせ下さい。

- 1 大変良い 2 良い 3 普通
- 4 もう少し努力が必要 5 まだまだ努力が必要

問2. より良い議会だよりにするために、次の2点について工夫すべきことは何かお聞かせ下さい。

- 1 文字の大きさやレイアウト関係については？
- 2 記事の内容、報告してほしい事柄などは？

問3. 上記のほか、議会だよりに関して何でも結構ですので、ご意見やご感想をお聞かせ下さい。

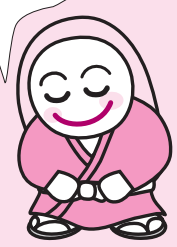
お忙しいところ誠に恐縮ですが、是非アンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。

「えびの市議会だより」は、市民の皆さまに議会の説明責任を果す一端を担っており、私達議員自らが筆を執り発行しています。

また、発行に携わる委員会も「議会広報特別委員会」として、一層の使命感を注ぎ、紙面づくりに工夫を重ねております。

ついでに、「議会だより」が一層市民の皆さまにとって分かりやすいものとなるよう、今後の紙面づくりに役立つためのアンケートを実施します。

ご協力ありがとうございました。
記入後は切り取ってそのままポストに投函して下さい。
※切手不要



【訂正とお詫び】市議会だより第114号に誤りがありましたのでここに訂正させていただきます。

議員別表決

「表決が割れた」議案等とその議員別表決

議案等賛否一覧表（※賛否がわれたもののみを掲載しています。）

議案番号	件名	議員名															採決結果
		1 上原	2 小宮	3 吉留	4 金田	5 中山	6 遠目塚	7 小東	8 田口	9 松窪	10 北園	11 竹中	12 西原(義)	13 西原(政)	14 蔵園	15 栗下	
認定第4号	平成28年度えびの市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	認定

○：議案等に対して賛成 ●：議案等に対して反対 欠：欠席 -：棄権 /：議長は採決に加わりません

編集後記

明けましておめでとうございます。2018年・新たな年をいかがお迎えになられたでしょうか。今年の干支は「戌」です。この戌年には「勤勉・努力家」という意味があり、知識を蓄えるには最適なんだそうです。（※諸説ありますが）えびの市にとりましても人口減少の進む中、どのようなまちを目指し取組みを進めるのか、市民の皆様のご意見等にも耳を傾け、日々見識を深める努力も必要です。また戌年には「新しい命を守る」との意味もあるそうです。縁起の良い日とされる戌の日に安産祈願へ行き腹帯を巻く風習も、安産と併せてそのような意味も込められているのでしょうか。子どもは地域の宝です。子どもを産み育てやすいまちとなり、若い世代がえびの市を担っていくよう、牽いては老若男女全ての市民の皆様にとって住み良いえびの市となるよう、「戌年」の意味を感じながら、議員として議会として、真摯に努めてまいります。新たな年も引き続き宜しくお願い致します。

議会広報特別委員会
副委員長 遠目塚 文美



郵便はがき



料金受取人払郵

889 4290

都城郵便局
承認
23

差出有効期間
平成30年
3月31日まで

◎議会だよりに関するアンケート調査

(受取人)
宮崎県えびの市大字栗下1292番地
えびの市役所 議会事務局 行

バーコード

※該当する年齢を○で囲んでください。

- 20才未満
- 20代～30代
- 40代～50代
- 60代～70代
- 80代以上

